



第1133号  
2009年7月26日発行  
日本聖公会東京教区  
港区芝公園3-6-18  
編集人 伊藤裕元

WEB: http://www.nskk.org/tokyo/index.htm E-MAIL: comm.tko@nskk.org  
Phone: 03-3433-0987, Fax: 03-3433-8678 Diocese Office

◇8月の代禱・信施奉献先  
▽日本聖公会青年活動のため(8月第1主日 8・2)▽在韓被爆者救援のため▽諸聖徒幼稚園のため▽薬物依存リハビリ施設の働きのため

《奉献先から》

在韓被爆者救援

広島に被爆者35万人中14万余人が、長崎では被爆者27万人中7万余人が死亡した。生き残った被爆者は後遺症に苦しみながら、戦争がもたらした悲劇を一身に背負ってきた。この被爆者の中に韓国人が10%にも及んでいる事実を知る日本人はごく少ない。強制連行などの理由で当時、広島・長崎にいた韓国人の中の7万余人が被爆し、4万余人が日本で死亡し、2万3千人

が帰国した。在韓被爆者への補償を徹底的に忌避した日本政府の差別的政策的結果、在韓被爆者の多くはまともな治療も受けられず死んでいき、現在は2千6百余人が生き残っているが、ほとんどは70〜80代の高齢者である。(立教大学チャプレン 司祭 柳時京)

◇堅信受領  
7月19日 聖パトリック教会  
▽木枝瑛介▽木枝萌▽溝口風花(聖パトリック)  
◆教役者レクイエム  
8月19日(水) 10時半  
主教座聖堂

▽8月ランチタイム・オルガンコンサート \*聖パウロ14日(金)佐藤礼子 \*神田キリスト19日(水)八代紀子 いずれも12時20分から、30分程度、入場無料。聖テモテは休演。

▽司祭閑翊▽主教須貝止▽主教今井正道▽司祭佐久間吉太郎▽司祭関屋正彦  
◆とこしえの平安  
6月30日 笹森壮一郎(77)  
7月5日 大澤 滋子(80)  
清瀬聖母

▽聖三一教会夏休み映画会  
8月16日(日) 14時、教会ホールでドイツ映画「フアンタジア」(1940年)を上映(解説付)。入場無料。

【教区事務所夏季休業】  
8月10日(月)〜14日(金)。  
【本紙の休刊】8月中の5主日(9月6日号より再刊予定)。

この聖句は、今年日本聖公会宣教150周年を記念する、私たちの標語として用いられています。現在使われている「新共同訳」聖書のひとつ以前の「聖書協会訳」では、沖へ、ではなく「深み」にのり出さないといと訳されていました。沖という、岸から遠くへという単なる距離ばかりでなく、深さをも指している訳が良かったと思っています。

要するに、イエスは、ガラヤで漁をしていた漁師たちに、まだ網を入れていない「未知の深みに」舟を出してみなさい、と呼びかけています。それに対して漁師たちは、自分たちはもう夜通し網をおろしてみて、ダメだった、「未知の深み」など無い、と反論して不満を表わします。

《み手のなかで》  
「こぎ出せ、沖へ」

主教 植田仁太郎

私たち、キリスト者と教会は、人生と社会の中での歩みの中で、いつも未知の分野に踏み出さないとい、イエス・キリストから促されているように思います。未知の分野に歩み出した時に、思いがけない神さまの力をいただくことになるのだと教えられているようです。

ウィリアムズ師というひとりの宣教師から始められた、日本での宣教の業は、まさに、未知の分野への歩みの連続でした。たとえば彼は、学校運営の専門家でも何でもなかったのに、立教学院や立教女学院を作りました。未知の分野への信仰の歩みは今も続いています。「カパティラン」も「ぶどうのいえ」も「給食活動」も、みんな未知の分野でした。未知の分野への歩みは、これからも続けられてゆかなければなりません。「こぎ出せ、沖へ」。

(東京教区主教)

**常置委員会報告** (7月17日)  
 ＊主教・主教チャプレン・総主事・3主事・主事補らによる職務の諸報告。

＊関口美佐穂聖職候補生の就学ビザ取得に伴い7月末にバンクーバー神学院留学へ離日報告。

＊ハラスメント防止委員会委員任命の経過報告、承認。

＊教区会館(1964年竣工)

耐震診断実施について経過報告

(芝公園敷地内諸施設将来計画検討特別委員会提案Ⅱ三宅委員長陪席説明)、1次・2次診断実施へ向けて協議、承認。

＊月島将来計画準備室第5回会合(7月14日)報告。

＊第109(定期)教区会につき、11月23日(月・休)開催、

書記2師任命(いずれも前回に続き2回目)を承認。

＊その他。

**信仰と生活委員会報告**

(7月15日)

＊秋季信徒講座の企画(10月11柳時京司祭、11月11竹内謙太郎司祭：各2回)、継続審議。

＊「聖書通信学習」企画に備えて、各教会グループ協議会の席で事前調査実施方を検討中。

＊路上生活者支援施設・活動への体験見学ツアー実施を企画、継続審議。

＊教区大運動会実施に向けて進捗等の確認(継続)。

＊その他。

▽日本聖公会宣教150周年記念催事 既報の通り、①記念

礼拝(こぎ出せ、沖へ)9月

23日(水・休)13時半・東京カテドラル聖マリア大聖堂(文京区関口)、②記念プログラム(みんな集まれ!)9月22日(火・休)

11時18時・立教大学池袋キャンパスの連日催事。①礼拝時の司式者は植松誠首座主教。説教者にローワン・ウイリアムズ・カンタベリー大主教が、また②の夕の礼拝説教では米国聖公会キャサリン・ジェファーツ・シヨリ総裁主教が。そのほか海外からまた教派を超えたゲスト多数が予定されるなど、大きな節目の記念イベントが展開される。

1日目の②記念プログラムは全教区から各種のブース出店があるほか、写真資料を中心とし

た展示、講演会(シンポジウム)、コンサートが、そして18時からは交流会(会費2千円・チケットは当日販売)も企画されている。案内や参加呼び掛けは、実行委員会より、引きつづき各教会・礼拝堂を通してなされる。

昨年来、募集中の記念献金(目標額1千万円)には7月15日現在、976万余円が寄せられていて、9月には達成がかなう見通しとなった(内、東京教区関係分は約133万円)。

▽広島平和礼拝2009(神戸教区主催) 今年も8月5日(水)・6日(木)の両日、「ともに学び、行動し、祈ろう」のテーマで行われる。1日目の夕刻には世界平和記念聖堂まで

「平和行進」をして「平和祈願ミサ」に与り、2日目早朝から原爆死没者慰霊行事(平和公園)と原爆犠牲者追悼聖餐式(広島復活教会)に参加する日程が中心。東京教区からは須賀義和司祭(正義と平和協議会議長)ほか参加する予定。

▽敗戦記念日祈禱会(第33回) 池袋聖公会と教区正義と平和協議会の共催、同教会で。

8月15日(土)18時より夕の礼拝・記念講演・すいとんを味わつての懇親会。関ノリ子講師(聖愛教員・元鴎友学園女子中学校・高等学校校長)の演題は「戦中・戦後を生きて」。参加費無料。照会：会場113(3986)4709。

▽COAサマーキャンプ参加

**者募集中** 既報の通り8月21日(金)12日(月)、戸隠ガールスカウトセンターで行われるキャンプ、申込みは本日中午に清瀬聖母教会宮崎光司祭宛に。113042(493)7472。

▽正義と平和協議会便り 8月2日付で「協議会便り第12号」と「平和メッセージ09」を発刊予定。

◇夏季キャンプ(3)

▽聖。ペテロ11月14日(金)16日(日)・山梨県塩山福ちゃん荘 ▽聖ガブリエル11月同日・松本ユースキャンプ場 ▽聖アンデレ11月22日(土)・教会(デイクャンプ) ▽池袋11月前項と同様 ▽小金井11月前項と同様 ▽聖救主11月22日(日)・清里フオレストアズキャンプ場